

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
わくわくエジソンふくしま鸛洲教室		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%	・机を壁側に寄せて並べ、真ん中に遊べるスペースを確保	・出来るだけ人数を集中させないように小部屋を使って分散させている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	・当日、キャンセルなど計算した上での利用を制限したり受け入れたり調整している。	・送迎などの兼ね合いで手薄になる事がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・高めの段差を少しでも低くするため、玄関にマットを敷いている。玄関の鉄板が雨の日滑りやすいため、滑り止めを貼り付けた。	・スペースの問題などある為バリアフリーなどは引っ越しを考えなければ難しいと思われます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・プログラムで、普段の掃除ではないようなところと一緒に掃除することで、教室に愛着を持ち、心地よい空間と感じてもらえるようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・一つしかないため、クールダウンなどは、玄関スペースも使用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・毎週、会議をしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者様との意見交換、支援計画など定期的に話し合っている。 ・会議の議題にあげて対策を考えている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・会議で意見を出す機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		・外部評価を見ている余裕がない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・ペーパー研修から顧問のDCDの先生による支援指導まで、充実	・意見交換できる時間を設けてもいい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・子どもが楽しめるように普段からなにに興味があるかみている ・半年に1回見直している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・連絡ノートの記載や送迎時の話も吸い上げる	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・会議で話し合いの上決めている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・全員が回覧し、情報共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	・個々の連絡ノートに記載している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%	・ガイドラインに沿って計画を立てている	・本当に適切かどうかわからない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・個人で考えることもあるが意見をもらうこともある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・毎週あみだくじで、利用者も指導員も飽きないように	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	・年齢で分けて活動することがある	・年齢の幅により、偏らないようにする工夫が必要だと思う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	・イレギュラーなときは話し合う	・できていない日もある。分担通りできないときはみんなが自ら動く
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	・スタッフ間でチャット等を活用し、共有している。	・できていない時もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	・業務日誌を付けている	・徹底はできていない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%	・出来る限り行っています	・適切でないこともあるかもしれない ・定期的ではない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	75%	25%	・地域神輿は毎年参加するようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・たくさんの種類の中から3つのおやつを選択をから始めている ・トレーニング内容を自分で選べる等の工夫がある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	・会議の前にスタッフ間での話し合いをしている ・時には2人体制で参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25%	75%		・整えきれていない機関もある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・親御さんとの確認だけでなく、各学校のホームページなども活用 ・送迎の際など、コミュニケーションをとるようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	・園等での様子を記したものを、親御様から受け取ることはある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25%	75%	・必要があれば同意を得た上での提供はできる	・まだその機会はない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	・地域ではないが、DCD専門の先生からアドバイスをもらっている	・情報収集が必要
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		・公園遊びや地域の行事への参加 ・地域の活動などに参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%		・人的余裕がない ・現在は必要ないと思う
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時や連絡ノートでコミュニケーションを取っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	・親子イベントの開催 ・要望がある時は行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・規定の用紙で入所前に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・保護者との連絡を取り、必要に応じて行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・支援計画を確認してもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・こちらからアプローチする ・面談などで対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		・これから増やしていかないとけない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・上長に報告し、会議で話し合いをしている ・トラブルになるまえに説明している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・承諾を得ている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・複数でチェックしている。 ・名前があるものを確認している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		・招きはしないが、地域行事に参加している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	・プログラムでは、利用者が、わかりやすいような動画なども活用	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・プログラムにとりいれている ・スタッフ会議で行なっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・基本情報などで周知している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・改善された後も、体の負担にならないよう、その食物を控えめにするなど ・おやつを分けたり、子供が触れないような場所で保管している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	・避難訓練などで確認している。教室に掲示している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	・連絡帳や手紙で配布している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	・各教室→全教室で把握できるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・社内研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・入所時に説明し、同意書を作成している	